

1998年に始めて開催された「川の日」ワークショップも、はや9回目を数えることとなりました。この間、柳川の水辺を守られた広松伝さんがお亡くなりになり、さらには一昨年、このワークショップの育ての親ともいべき森清和さんが逝かれるという、悲しい出来事がありました。しかしその悲しみを乗り越えて、昨年は豊田市の方々が8回目のワークショップをすばらしい演出で飾ってくださいました。お二人の名は、「広松伝賞」「森清和賞」として、ワークショップの参加者の胸に刻まれています。

東京に戻った第9回にもまた、全国から川をこよなく愛する多数の仲間が集ってくれました。いつもながらその熱気は会場を揺るがすほどでした。会場の都合で1次選考の場所から移動しての2次選考となったために、パネルの運搬等、また、恒例となっている交流会での再アピールのための移動も、大変だったと思います。いつもながら、ボランティアの学生諸君もがんばってくれました。このような、参加する方々の手づくりの会にもかかわらず、多数のエントリーがこれだけ続いたことは、まさに川が、多くの人にとってますますかけがえのない存在になりつつあることを示して余りあると思います。

今回もまた、選考委員の個性的な評価と、延藤コーディネーターの巧まざる巧みな誘導によって、二つずつのグランプリと準グランプリを始め、多くの入賞・入選が決まりました。選考の議論の過程で、会場からも多くの発言がありました。その中で最も嬉しかったことは、高校生の参加者から、他の高校生グループのレベルの高さを訴え、それを支持する発言があったことでした。彼らは、前日の発表会の後の交流会で大人たちがアルコールを下地に歓談しているときに、お互いの活動の中身について語り合っていたのです。今回のワークショップでは、五つもの高校生グループが入選以上に選ばれましたが、子供から大人になる過程で、しっかりした学習の上に立って身近な自然の価値を研究し、それを全国に発信する彼らは、日本の将来にとって本当に頼もしい存在です。

川の生きものについての発表が多かったのも、今回の特徴でした。川が本当に多種多様な生きものを育て、人の暮らしにとって計り知れない価値を持っていることを、あらためて学び合えたのではないのでしょうか。

来年は「川の日」ワークショップも10回目を迎えます。関係者の間では、節目としての意義をどのように打ち出すか、早くも議論が始まっているようです。多くの意見を事務局にお寄せいただければ幸いです。おわりに、今までの各方面のご支援、とりわけ河川環境管理財団のご支援に感謝申し上げます。意義ある10回目がとどこおりなく開催できるように、あらためて関係各位のご支援をお願いして、ご挨拶とさせていただきます。

「川の日」ワークショップ実行委員長
宮口 侗迪

第9回「川の日」ワークショップ

- ・会期：2006年7月22日～23日
- ・会場：国立オリンピック記念青少年総合センター／明治神宮 参集殿
- ・主催：いい川・いい川づくり実行委員会

●第9回「川の日」ワークショップ実行委員会（承諾者153名）

北海道地域	井出 隆雄	田中 栄治	山本 耕平	本守 真人	四国地域	西江 重信	栗原 秀人
荒関 岩雄	伊東 孝	田中 哲夫	横山 清美	森 誠一	西内 燦夫	原口 泉	五道 仁実
菊池 静香	犬山 清史	田中 信明	吉村 伸一	森山 奈美	福留 脩文	右田 いくみ	佐藤 寿延
工藤 達人	伊納 浩	土屋 十園	霊山 智彦	中部地域	福永 泰久	宮地 元	関 克己
熊木 朋子	入江 隆彦	鋸山 英次	渡部 一二	上田 豪	山田 佳代	村田 幸博	谷本 光司
嶋田 浩彦	岡村 直樹	堂本 泰章	中部地域	大滝 裕一	九州・沖縄地域	山口 徳雄	高橋 政則
妹尾 優二	小倉 紀雄	中井 祐	石月 升	片寄 俊秀	赤坂 宗昭	渡辺 亮一	田村 秀夫
田口 哲明	風間 真理	長野 正孝	延藤 安弘	川上 聰	磯辺 信之	関係機関	塚原 浩一
田丸 典彦	神谷 博	萩原 なつ子	大熊 孝	坂口 泰一	井上 大輔	足立 敏之	泊 宏
山内 忠明	木俣 知大	廣崎 芳次	小田 稔彦	高畑 正	今泉 重敏	池内 幸司	中込 淳
東北地域	君塚 芳輝	百武 ひろ子	織井 秀夫	中農 一也	上野 敏孝	入江 靖	藤芳 素生
小山 隆春	木村 尚	福富 洋一郎	風間 ふたば	朴 恵淑	榎本 敬子	小俣 篤	藤田 光一
金子 博	桑子 敏雄	松井 正澄	木村 精治	橋本 夏次	岡 裕二	海野 修司	古川 博一
高橋 万里子	小堀 洋美	松岡 恒司	近藤 朗	福広 勝介	幸野 敏治	大平 一典	森 吉尚
田島 裕司	佐藤 年緒	水谷 正一	相楽 治	遊磨 正秀	児玉 澄子	岡下 淳	安田 実
新川 達郎	品田 穰	三井 元子	桜井 善雄	横山 葵	崎山 正美	奥田 晃久	
水戸部 浩子	柴田 敏隆	宮本 善和	裕 さくら	中国地域	島谷 幸宏	尾澤 卓思	
関東地域	島村 雅英	恵 小百合	原 隆一	池田 満之	駄田井 正	上総 周平	
荒木 稔	島村 勇二	望月 史郎	星島 卓美	小谷 寛二	田中 秀子	金尾 健司	
石田 幸彦	白瀧 敏弘	矢萩 隆信	福澤 浩	竹原 和夫	寺田 麗子	鎌田 照章	
磯 ちず子	菅谷 輝美	山道 省三	宮口 ？ 廸	美甘 頼昭	土井 裕子	萱場 祐一	(全153名)

- ・協力団体：NPO 法人 全国水環境交流会，NPO 法人 自然環境復元協会，社団法人 日本河川協会
- ・事務局：NPO 法人 全国水環境交流会

2006年12月発行

「川の日」ワークショップ実行委員会

事務局：〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 1-20-14 神宮村 301 (NPO 法人 全国水環境交流会)
 TEL：03-3408-2466 FAX：03-5772-1608 E-MAIL：kawanohi-2006@mizukan.or.jp
 「川の日」ワークショップホームページ <http://www.mizukan.or.jp/kawanohi/kawanohi.htm>

「川の日」ワークショップは、各種助成金等を受け、「川の日」ワークショップ実行委員会が主催・運営しています。開催・運営につきましては、次回以降も企業等からのご支援を頂きたいと考えております。詳しい内容等、また、過去の開催の記録集、選考資料等につきましては、下記事務局までお問合せください。

次回予告！

第10回「川の日」ワークショップは・・・

2007年7月21日（土）・22日（日）開催予定！

ご参加ください!!

- ・ 次回の「川の日」ワークショップは、記念すべき第10回大会として、9年間のレビュー（ふりかえりと評価）と、これからのレビュー（展望）をあわせて行います。
- ・ 会場は、国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）ほかを予定
- ・ 7月20日（金）は、記念の前夜祭も行う予定です。
- ・ 2007年5月初旬、募集開始予定です。詳しくは事務局まで。

関連するシンポジウムのご案内（参加募集）

これからの日本の川づくりの方向を示す多自然川づくりの通達が今秋行われました。この多自然川づくりは、「川の日」ワークショップの成果が大いに活かされようとしています。その一つは、官民のパートナーシップ型事業として推進することです。その推進方策等につき、シンポジウムを来年初頭から始めることになりました。皆様のご参加をお願いします。

第1回 多自然川づくりシンポジウム

日時：2007年2月17日（土）13：00～17：30

場所：東京ウィメンズプラザ・ホール（東京都渋谷区神宮前・国連大学横）

内容：①基調講演「日本の川と風土」 桑子 敏雄さん（予定）

②全国5河川、川の魅力発見プロジェクトからの報告

③川の情報収集、発信活動事例パネルセッション

④パネルディスカッション：国土交通省河川局、学識者、川のNPO等

⑤懇親会

※参加無料

※ 講師、プログラム等は予定です。詳しくは、下記事務局にお問い合わせください。